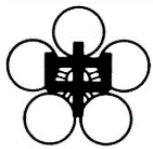


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

# 輝く未来へ

板橋区立加賀中学校  
学校だより  
令和2年度 第 8号  
令和2年 7月 31日  
校長 水谷 智子

## 一学期の終わりに

4・5月の臨時休業から始まった令和2年度、分散登校からの学校再開を経て、コロナウイルスと共にあった一学期が今日で終わります。新型コロナウイルスは再び感染拡大の様相を見せていますが、幸いにも本校では、無事に終業式の日を迎えることができました。皆様方のご協力に、心より感謝申し上げます。

臨時休業期間中は、週1回ペースで個別に連絡を取りながら、家庭学習プログラム等の学習活動を進めました。とはいえ、十分なオンライン授業を行うことは能わず、生徒や保護者の皆様には、多大なるご心配をおかけしたと存じます。先日行われた9年(中3生)の弁論大会では、臨時休業期間中につくった原稿をもとに発表をしました。どの発表も、「一人の時間が、自分自身や社会の有り様について思索を深めたこと」「家庭での時間が、家族に対する理解を深め、体験的な学びにつながったこと」を物語っていました。休業中も確かな学びがあり、生徒一人一人がそれぞれに成長していたこと、決して無為な時間ではなかったことを感じました。

6月1日から始まった隔日の分散登校から今日まで、段階的に学校生活を再開してきましたが、どこまで感染症対策を行えばよいのか、「安心」を求めるときりがなく、「安全」の確保に努めながら、「走りながら考える」日々が続きました。不自由な学校生活が続きましたが、生徒たちは、めげることなく、辛抱強く、節度を持って学校生活を送っていました。「今できること」に一生懸命取り組んでいる生徒たちの姿は、とても立派だったと思います。

私にとっても、この一学期は、「学校は何をすところか?」ということのを改めて考えさせられた日々でした。「学校は仲間とともに学ぶ場所」です。一人でも、ドリル学習や調べ学習を進めることはできますが、それだけでは学習は深まりません。自分の考えを他者にわかってもらえるように説明し、自分と異なる他者の意見を聞き、考えを広げたり深めたりする“対話的な学習”が長期間できなかつたことは、生徒にとっても教員にとっても大変厳しいことでした。しかし、だからこそ、皆がその重要性に気づくことができました。現在は、マスクを着け、距離を取る工夫をしながら、意見交換し合う活動も行っています。友達の発表を聞いて拍手を送る姿、拍手をもらって嬉しそうに微笑む姿を見ると、学校には「仲間とともに学ぶ喜び」があることを実感します。

また、久しぶりに再開された部活動や委員会活動では、生徒たちの楽しそうな笑顔や生き生きとした表情をたくさん見ることができました。生徒たちは、教科の学習だけではなく、様々な活動を通して人と繋がっていること、その繋がりの中で個性を伸ばしていることを感じます。今は、宿泊行事や例年のような学校行事ができない状況ですが、「三密を避ける」という新たなルールのもとで、できることを探し、仲間との繋がりをつくろうとしています。「新しいものを創り出す」「やりたいことをやれるようにする」、ウィズコロナの時代だからこそ、挑戦する生徒を育てていきたいと思っています。

今後、通常の学校生活に戻るには、まだまだ時間がかかるでしょう。しかし、「ピンチをチャンスに変えること」「当たり前前が当たり前前にあることの素晴らしさ」に気づくことができたこの一学期は、貴重な学びの時間でした。また、学校教育の中で、これから整えていかなければならないものも明確になりました。コロナ対策を考えることは、新しい学校教育のあり方を考える機会にもなりました。この経験を、“生きるチカラ”に変えて、皆で、これからの生活を創り出していきたいと思います。

## ◎生徒総会

7月17日(金)の6校時に生徒総会を行いました。ZOOMによるライブ配信の予定を、急遽、放送に代えて実施しましたが、生徒たちは各教室で、議案書を見ながら放送に耳を傾け、熱心に参加していました。議事では、生徒会役員や各種委員会の委員長から活動方針等が発表され、各クラスから委員会への質問事項とそれについての答弁が行われました。活動方針等の承認は拍手で行われ、校舎全体に拍手の音が響いていました。

今年度は、新型コロナの影響で、生徒会活動や委員会活動においても、できる活動が限られていますが、どの委員会も、自分たちの学校生活を楽しく過ごしやすいものにしようと活動方針・活動計画を立てました。「自分たちで自分たちの学校生活を秩序ある楽しいものにする」という自治の意識を高める生徒総会になりました。

生徒会活動や委員会活動は、異学年の生徒が交流する場でもあります。上級生の姿



に刺激を受けた下級生が「あんな風になりたい」という憧れを抱き、それが成長の原動力になることを願っています。上級生のリーダーシップに、一層期待しています。

## ◎第2回CS委員会

7月18日(土)に第2回CS委員会を開催しました。第1回は紙上開催でしたので、今年度初めての顔を合わせたCS委員会になりました。CS委員の皆様には3校時の授業の様子も見ていただきました。

今回の熟議のテーマは、「ウィズコロナ時代の学校教育」でした。4月からの本校のコロナ対応の取組をご報告し、現在の生徒たちの様子や学校状況をご理解いただきました。そして、学校行事等ができなくなっている中で、生徒たちの学校生活をどのように充実させていくか、委員の皆様からご意見をいただきました。

委員の皆様からは、「分散登校が始まった当初に比べ、生徒たちが明るく元気になってきていて安心した」「宿泊行事や学校行事がなくなって残

念だが、生徒たちには代わりに思い出づくりをしてほしい」「希望を持って学校生活を送れるようにしてほしい」「保護者としても、生徒たちの思い出づくりを応援したい。できることは協力する」など、力強い応援メッセージを多数いただきました。防災キャンプなどの提案もありましたが、今後、学校でも検討し、生徒たちの考えた企画を実現できるよう、PTAや学校支援地域本部、地域の皆様にも、ご協力いただくことを確認しました。

生徒たちが「やりたいことをやれるようにする」ために、今こそ、学校と地域の連携が必要です。次回のCS委員会までに、様々な連絡調整を行い、豊かな学びを実現したいと思います。

## ◎部活動

7月13日(月)から部活動の仮入部が始まりました。7年(中1生)の皆さんは、念願の部活動に参加して、憧れていた中学校生活を実感していることでしょう。保護者の方からは、「部活動に参加して顔つきが変わってきた。やはり、中学生にとって部活動は学校生活の大切な要素」との声を頂きました。8年(中2生)、9年(中3生)の皆さんは「後輩ができる」ことを心待ちにしていたことでしょう。どの部活動でも、自分たちが先輩たちからしてもらったように、仮入部・新入部の後輩たちに、優しく親切に接している上級生の姿が見られます。とてもほほえましい光景です。加賀中の良い伝統が息づいていることを感じます。

現在、部活動も段階的に通常体制に戻していますが、区内で生徒及び教職員に感染者がでた場合には、部活動についても、活動中止や対外試合の中止などの措置がとられることになっています。今後の感染拡大状況により、様々な対応がありますので、ご承知おき下さい。

一人一人が、練習前後の手洗いや消毒、体調管理に努め、感染防止対策をしっかりとることを心がけて、楽しく充実した部活動ができるようにしていきましょう。

一学期間、本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。夏季休業中も、新型コロナウイルスや熱中症、食中毒など、様々な事案の発生が危惧されます。何かありましたら、速やかに学校までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

